

安全で快適な自転車環境のための 道路づくりに必要とされる基本思想

早稲田大学
政治経済学術院教授
小林麻理
Mari Kobayashi



どのような交通手段を使おうと、私たちが毎日、何らかのかたちで必ず利用しているインフラが道路である。専門家によると、道路の機能は、①人やクルマ等の通行のためのトラフィック機能 ②それらの移動主体が沿道にアクセスするためのアクセス機能 ③それら以外の機能である都市インフラを収納する機能、防災機能、都市の骨格形成やコミュニティ形成の機能などを包括した空間機能、に分類される。これらの機能はすべてどれも私たちの生活に密着し、欠かすことができない。

この道路に現在、問題を投げかけているのが、

周知の通り自転車である。環境に優しく、交通手段としての重要性が高く認識されているにもかかわらず、自転車による交通事故、特に歩行者対自転車の事故件数の著しい増加により、警察・検察当局が取り締まりを強め、刑事罰を科す動きが進んでいる。

このような状況下で、どのような道路づくりが目指されるべきなのか。確かに、通過交通のための空間と通過車両が侵入せず静穏な環境が保たれる空間に分離する都市空間のゾーンシステムや、高速道路から街路までの道路の段階構成を明確にするといった考え方が、まさしく基

本とされ、都市設計の根幹とされる必要がある。しかしより重要なことは、この基本的な考え方が、道路そのものにとどまらず、「人々が安全かつ快適に生活することができ都市空間の形成」を目指していることを改めて認識した上で、公共価値を実現する参加型の道路づくりを進めることである。

公共価値を実現する参加型の道路づくりとは何か。そこには何が必要とされるであろうか。この点で参考となる考え方を示すものの一つに、「新たな自転車利用環境のあり方を考える懇談会」(国土交通省道路局・警察庁交通局が設置)によ

る「道路空間の再構築に向けた基本事項」がある。そこでは基本事項として、①人優先 ②バランス(歩行者・自転車・自動車) ③パートナーシップ、が挙げられている。これら三点は、道路というハードそのものではなく、ハードをつくり上げるための前提とされるべき基本的な考え方である。具体的には、次のような論点をこ

が求められ、いかに豊かな都市空間を形成していくのか、ということ、社会のすべてのステイクホルダーズを巻き込んで追究する必要がある。

ここで重要な観点は、個々の利用者の私利私益、これまで所与とされてきた公益、それらを超えて、社会の構成員すべてが納得し、合意できる公共価値の実現に向けて、まさに参加型のすべてのステイクホルダーズが参加する機会が十分に保障されることである。

これこそ「手続的利益」による熟議民主主義の実践である。このプロセスを通じて安全で快適な道路を起点とする豊かな都市空間が創出され、道路づくり、都市づくりの専門家のノウハウが十二分に発揮され、公共価値を生み出す素地となるのである。

その意味で、道路づくりの基本思想として、その中核に公共価値を実現するメカニズムがビルドインされることを重要であることを強調したい。一般的な「公益」を実現するものとしてのこれまでの道路のあり方を所与とせず、これから一層進展する高齢社会に加えて、持続可能な社会の実現を図るために、どのような道路

翻って、国土交通省道路局・警察庁交通局による『安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン』(二〇一二年十一月に策定)をみてみよう。同ガイドラインには、自転車通行空間の計画、設計、利用ルールの徹底、自転車利用の総合的な取組みの詳細なノウハウが盛り込まれている。しかし、それは、特定の環境におかれた都市空間におけるすべての利用者の安全・快適を実現

する最適な道路づくりの在り方をガイドランスするもの、私たちの生活により本質的な価値を実現するためのガイドというよりは、あくまでも狭義の「安全で快適な自転車利用環境創出」をターゲットにしたマニュアルのようにみえる。自転車にとっての安全・快適は、歩行者、車、特に歩行者や歩行弱者の安全・快適なしには考えられない。すべての市民にとって、安全で快適な空間こそ、生活のまさにインフラだということである。言い換えれば、道路が、公共空間が実現する価値の無くてはならない構成要素であるという位置づけがなければ、社会政策としてのインフラ整備はその目的を達成することができないということである。ロッテルダムで、道路と歩道の間、まるで散歩道のように緩やかなカーブを細かく重ねた自転車専用道路を見たことがある。この設計思想はまさに、街なかで合理的にスピードを緩める、ゾーン30と同様の道路設計の基本思想を具体化するものといえる。

道路のすべての利用者が合理的な行動をとることができる設計思想は、公共空間全体の価値の共有があつてこそ、生み出される。